R4調書番号 392

コーパン コーンドンくりかんか	~, ~											
事務事業名称	NPO活動支	援事業										
測定年度	2022 (F	4)年度	部		市長公室		課		市民活	舌動課		
市長公約との関係	所信表明	0	市政運営方針	R2		R3		R4		R5		
	基本目	標	6.計画の推進	.計画の推進に向けた基盤づくり								
総合計画体系	施策目	標	30.市民による活発なまちづくり活動を支援します									
	実行計画	<u></u> 町名	計画推進2-1.市民活動の支援									

1 事務事業の概要

<u>」. 事務事業の</u> 権	外女											
種類	市民サービス	特性	_	選	択的事業	区分		一般事務事業				
事業期間	2007 (H19) 在	F 度	年度	~				年度まで				
根拠法令等	決裁											
関係補助金名称	NPO活動応援基金補信イベント事業補助金		金、NPO [·]	情報発	サンセット	2023(R5)年度	~	2025 (R7)年度				
関係附属機関名称 枚方市NPO活動応援基金支援審査会												
	メインターゲット	市内で活動で	する市民や	>NPO	の市民活動団	体						
事業対象	サブターゲット	市内で活動でが向上する市		>NPO	の市民活動団	体の活動を受けて	、生	活の利便性など				
1.2(2.12)	市民やNPO・市民団体等の連携、市民活動の情報収集・発信、市民活動の担い手及び市民活動の資金が不足している。											
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民やNPO、市民団化	本等の市民活	動が活性	化される	5.							
事業概要	収集・発信し、相互の 2. NPO活動応援基金 市民・法人等からの 助金を交付することに 3. NPO情報発信イク 特定非営利活動法	、団体等の市民活動の活性化を促進するため、サプリ村野を拠点に市民活動の情報交換や人材育成を図る。 金補助事業 寄付金の受け皿となる枚方市NPO活動応援基金を原資として、市内のNPO法 こより自主的な市民活動の推進を図る。										

2. ロジックモデル及び指標設定

	. ロンソンモナル及び指標設定													
				アウト (活動	< カム 効果)				プット 結果)		インブット (活動)			
	ロジ		活動が清	IPO、市目 舌性化され	民団体等の いる。			IPO、市民	民団体相! 成が図ら		サプリ村野を拠点に、市民活動の情報を収集・発信する。			
指	,	指標説明	活動の扱 用率 【算出率	IPO、市員 処点である :利用時 2数×100	がプリ村 間枠数/利)】	野の利利用可	サプリ村	野学校の)開催団体	本数 団体	ひらかた びサプリ	市民活動 NPOセン		
指標設定	<u> </u>	指標種類	増加す	ることが且	単位 まいとされ	% ス指煙	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
設	<u> </u>		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
走	書 指 目標 目標 (見込み)		45	50	55	60	12	15	18	20	550	570	590	610
	値	実績	37	39.10	46.50		8	6	15		276	326	357	
	達成度 85%						83%				61%			

				アウト (活動				アウト (活動			インプット (活動)			
	ジッ	クモデル②	活動が活	IPO、市貝 5性化され	1る。		市内のN 交付する		に対して社	補助金を	市内のNPO法人に対し、NPO活動 応援基金への登録を促す。			
指		指標説明	活動の拠 用率 【算出率	IPO、市民 処点である :利用時 や数×100	5サプリ村 間枠数/利)】	野の利利用可	NPO活動 数	协応援基金			NPO活動応援基金の登録団体数			
標					単位	%			単位 □団体 □ 5ことが良いとされる指標 □ 増加すること				単位 団体	
設		指標種類	, , , , ,	ることが且			, , , , ,						良いとされ	
定	指		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
2	標数	目標 (見込み)	45	50	55	60	12	16	20	24	15	20	25	30
	値	実績	37	39.10	46.50		10	6	6		16	12	10	
		達成度		85					0%			_	0%	
				アウト (活動				アウト (活動	結果)				プット 動)	
	ジッ	クモデル③	活動が活	IPO、市目 5性化され	いる。			ェスタ」の O団体の泡)フェスタ _. PRする。	一参加
指	市民やNPO、市民団体等の市民活動の拠点であるサプリ村野の利用率 【算出率:利用時間枠数/利用可能時間枠数×100】							スタの来			NPOフェ	スタの参	加団体数	
標設		レーエイエック	136 day 1	1 10 F	単位	%	136 Lm 3	1 1× F	単位	人	(36 day)	w = 1 1% r	単位	団体
設		指標種類		ることが月				ることが月					臭いとされ	
定 3	指	目標	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
(3)	標数	日標 (見込み)	45	50	55	60	4,000	4,250	4,500	4,750	48	50	52	54
	値	実績	37	39.10	46.50		3,068	_	2,700		35	_	40	
		達成度		85	5%		60%				77%			

3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	0. 80
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0. 00
附属機関委員	6. 00

4. 決算額 (千円)

4.	<i>\(\)</i>	万 异似					(十円)
			R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
		正職員、再任用、任期付	5, 583	5, 500	6, 250		
	人	会計年度任用職員	0	0	0		
歳	件	特別職非常勤	0	0	0		
出出	費	附属機関委員	162	171	190		
ш		人件費計	5, 745	5, 671	6, 440		
	物化	并費計	18, 995	17, 719	19, 295	20, 742	93. 0%
		歳出計	24, 740	23, 390	25, 735		
	国国	車支出金	0	0	0		※「正職員、再任用、
		支出金	0	0	0		任期付」の人件費に ついては、人員配置
歳	受益	益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	をもとに平均人件費
入	市債		0	0	0	0	を乗算しています。
	その	D他	3, 046	1, 768	3, 996	5, 445	※「歳入」欄には物件 費に充当されるもの
		歳入計(物件費に充当される特定財源)	3, 046	1, 768	3, 996	5, 443	のみを記載していま
		一般財源(物件費に充当されるもの)	15, 949	15, 951	15, 299	15, 299	す。

5. 総括的分析

総括的分析

市民活動の拠点であるサプリ村野NPOセンターの利用率について、目標は下回ったが、前年度より上昇した。

6. 今後の方向性

区分	現状維持

今後の取り組み方針 NPOの中間支援組織である、ひらかた市民活動支援センターと連携し、NPOの活動支援を継続して取り組むとともに、市民活動の活性化を推進する。

ナッツ ナントンへっぱん											
事務事業名称	コミュニティ	ミュニティ活動事業(補)									
測定年度	2022 (R	4)年度	部		市長公室		課		市民活	5動課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり								
総合計画体系	施策目標 3		30.市民による活発なまちづくり活動を支援します								
	実行計画	10名									

1 事務事業の概要

<u> 1. 事務事業の</u>	光女									
種類	市民サービス	特性	選打	尺的事業	区分		一般事務事業			
事業期間	①H2年度(1990年度) ②H19年度(2007年度)	年度	~				年度まで			
根拠法令等	①枚方市校区コミュニ	ティ活動補助金交付要	長綱 ②杉	て方市地域づく	くりデザイン事業補	亅助釒	仓交付要綱			
関係補助金名称	①枚方市校区コミュニ 域づくりデザイン事業		2023(R5)年度							
関係附属機関名称				1						
	メインターゲット	各校区コミュニティ協語	義会							
事業対象	サブターゲット	各校区の住民								
于未八办	ターゲットが抱える課題 を校区コミュニティ協議会における主体的な活動の活性化を図るため、取り組みを 支援する。									
	ターゲットが抱える課題									
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	校区コミュニティ協議会 促進が図られている状		り、安全で	で魅力あるまち	らづくりの推進及ひ	が地域	域住民の連携の			
事業概要	割額)と使途を限定した額については均等割りの範囲内で令和3年度②地域づくりデザイン議会がその実現に向い	割、人口割1割の割合 をから令和5年度まで3 事業補助金:地域住民 けて主体的かつ持続的 会の廃止や申請書類の	パトロー/ たったも年間に渡ばが様々な が様々な かででう活	レ活動補助金のを、対象住 のを、対象住 り段階的にない地域づくりの 動に対して支など、申請手続)の二段構成となっ 民数を踏まえた公]等割8割、人口割 アイデアを出し合い :援を行う補助制度 続きの負担軽減を	ってい 平性 J2割 い、 t 返る	いる補助金。基礎性の観点から予算に移行していく。 交区コミュニティ協 とともに、補助金			

2. ロジックモデル及び指標設定

		コンツンモフ												
				アウ (活動	トカム 効果)			アウト (活動	プット 結果)		インプット (活動)			
	ロジ		魅力ある	ュニティ族 まちづく D連携の(りの推進	及び地	校区コミな活動が	ュニティ族 ゞ実施され		主体的	校区コミュニティ協議会の運営に対 し、校区コミュニティ活動補助金を 交付する。			
指標	([指標説明	さらなる ^は れた校D	地域活動 ∑数	の活性化	どが図ら	件数 (令和3 ^年 議会の負 告の様式	ユニティ族 手度より校 負担軽減 大を変更し は は は は は は は は は に な が は に を 変更し は は に は に に に に に に に に に に に に に	を区コミュ: を目的に ノ、それに	ニティ協 活動報 ニ合わ		ミュニテ	舌動補助の イ活動の3	
記定	<u> </u>	指標種類	増加す	ることが且			増加す	ることが且			増加す	ることが!	<u></u> 単 し 臭いとされ	
7.	指	37 134 122 34	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	標数	目標 (見込み)	45	45	45	45	10,000	15,000	20,000	22,000	45	45	45	45
	値	実績	45	45	45		16,397	11,890	6,086		45	45	45	
		達成度		10	0%	•	30%				100%			

					アウト (活動				アウト (活動	プット 結果)			•	プット i 動)	
	ョジ	ック	モデル②	魅力ある	ュニティ協 まちづく! D連携の(の推進	及び地	地域づく る。	りデザイ	ン事業を	実施す	校区コミュニティ協議会に地域づくりデザイン事業補助金を交付する。			
41-		指	標説明	さらなる ^り れた校区	地域活動 S数	の活性化	どが図ら	地域づく 校区数	りデザイ	ン事業を	実施した	地域づくりデザイン事業補助金交付によりコミュニティ活動の支援を行った校区数			
指標	Í					単位	校区			単位	校区	単位 校区			
設	· _	指	標種類		ることが且					良いとされ				良いとされ	
定		指	□ 	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
2		標 数 —	目標 (見込み)	45	45	45	45	0	3	2	4	0	3	2	4
		値	実績	45	45	45		0	3	2		0	3	2	
		這	達成度		10					0%				00%	
					アウト (活動					プット 結果)				プット 動)	
	コジ	ック	モデル③	魅力ある	ュニティ協 まちづくり D連携の(の推進	及び地	青色防豹	ロパトロー	-ル活動の)実施	青色パト	ロール防	ラ犯活動の)申請
ll-	さらなる地域活動の活性化が図ら 指標説明 れた校区数							青色防¾ た校区数		・ル活動を	全実施し)青色防∛ 爰を行った	
指標	Ĺ					単位	校区			単位	校区			単位	校区
設	, _	指	標種類		ることが良					臭いとされ				良いとされ	
定	·	指		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
3) 1	標 数 —	目標 (見込み)	45	45	45	45	13	13	13	13	13	13	13	13
	-	値	実績	45	45	45		13	13	11		12	12	11	
		į	達成度		10	0%		85%				85%			

3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	1. 50
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0. 01
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額 (千円)

人并识					(
	R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
正職員、再任用、任期付	9, 570	11, 786	11, 718		
人 会計年度任用職員	0	31	22		
件特別職非常勤	0	0	0		
費 附属機関委員	0	0	0		
人件費計	9, 570	11, 817	11, 740		
物件費計	51, 761	55, 664	54, 714	56, 443	96. 9%
歳出計	61, 331	67, 481	66, 454		
国庫支出金	0	0	0		※「正職員、再任用、
府支出金	0	0	0	0	任期付」の人件費に ついては、人員配置
受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	をもとに平均人件費
市債	0	0	0	0	を乗算しています。
その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件 費に充当されるもの
歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	0	0	0	のみを記載していま
一般財源(物件費に充当されるもの)	51, 761	55, 664	54, 714	56, 443	す。
	正職員、再任用、任期付会計年度任用職員件特別職非常勤附属機関委員 人件費計物件費計 歳出計 国庫支出金 府支出金 受益者負担(使用料、手数料)市債 その他 歳入計(物件費に充当される特定財源)	R2決算額 上職員、再任用、任期付 9,570 会計年度任用職員 0 特別職非常勤 0 附属機関委員 0 物件費計 51,761 歳出計 61,331 国庫支出金 0 府支出金 0 受益者負担(使用料、手数料) 0 市債 0 その他 0 歳入計(物件費に充当される特定財源) 0	大 に 職員、再任用、任期付 R2決算額 R3決算額 正職員、再任用、任期付 9,570 11,786 会計年度任用職員 0 31 特別職非常勤 0 0 附属機関委員 0 0 大件費計 9,570 11,817 物件費計 51,761 55,664 歳出計 61,331 67,481 国庫支出金 0 0 府支出金 0 0 受益者負担(使用料、手数料) 0 0 市債 0 0 その他 0 0 歳入計(物件費に充当される特定財源) 0 0	R2決算額 R3決算額 R4決算額 正職員、再任用、任期付 9,570 11,786 11,718 会計年度任用職員 0 31 22 特別職非常勤 0 0 0 0 附属機関委員 0 0 0 0 0 放件費計 51,761 55,664 54,714 歳出計 61,331 67,481 66,454 国庫支出金 0 0 0 0 成方式出金 0 0 0 0 受益者負担(使用料、手数料) 0 0 0 0 その他 0 0 0 0 歳入計(物件費に充当される特定財源) 0 0 0 0	R2決算額 R3決算額 R4決算額 (参考)R4予算額 正職員、再任用、任期付 9,570 11,786 11,718 会計年度任用職員 0 31 22 特別職非常勤 0 0 0 附属機関委員 0 0 0 物件費計 51,761 55,664 54,714 56,443 憲出計 61,331 67,481 66,454 国庫支出金 0 0 0 0 府支出金 0 0 0 0 受益者負担(使用料、手数料) 0 0 0 0 市債 0 0 0 0 その他 0 0 0 0 歳入計(物件費に充当される特定財源) 0 0 0 0

5. 総括的分析

総括的分析

校区コミュニティ活動補助金および地域づくりデザイン事業補助金を交付することにより、各校区コミュニティ協議会における活動の活性化が図られた。

区分	現状維持	
今後の取り組み方針	補助金を交付することにより、を行う。	交区コミュニティ協議会が行う安全・安心のまちづくりに向けた活動に対する支援

事務事業名称	自治会館建設等支	1治会館建設等支援事業										
測定年度	2022(R4)年度		部	市長公室			課	市民活動課				
市長公約との関係	所信表明	市政運	市政運営方針 R2 R3 R4							R5		
	基本目標	6.計画	町の推進	に向けれ	上基盤づく	くり						
総合計画体系	施策目標	30.市月	30.市民による活発なまちづくり活動を支援します									
実行計画名 計画推進2-1.市民活動の支援												

1 事務事業の概要

1. 事務事業の概	犹 岁												
種類	市民サービス	特性		選打	尺的事業	区分	-	一般事務事業					
事業期間	1970 (S45) 年	E度	年度	~				年度まで					
根拠法令等	自治会館建設等助成			•									
関係補助金名称	自治会館建設等助成	金			サンセット	2021(R3)年度	~	2023(R5)年度					
関係附属機関名称													
	メインターゲット	自治会											
事業対象	サブターゲット 自治会活動を行う自治会員をはじめ、自治会館を使用される地域住民等												
チベバが	ターゲットが抱える課題	-ゲットが抱える課題 自治会活動の拠点である自治会館の整備											
	ターゲットが抱える課題	-ゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	 自治会活動の拠点で	ある自治会館	の整備が何	足進され	、自治会活動	かの活性化が図られ	hてい	る状態。					
事業概要	住民による安全・安心活動の拠点であり、住自治会館建設等助成また、市内で一定規模るほか、過去の住宅関る自治会館建設に至っなお、令和3年度に自①建築物価の変動を刊から750万円に増額②自治会において計するため、建物全般のした。	民の連携を仮金を交付して 違以上の住宅に り発に伴い、開 がないおい用が 治会館建設等 踏まえ、これま 画的な改修を	性するたいる。 別発が行れ 別発業者かれていて 時助成金ダ で据え置	めに大変のれる際に大くのより、はいたいでは、自れるに、はいいでは、自れるには、はいいでは、自れるには、はいいでは、自れるには、はいいでは、自れるには、はいいでは、自れるには、はいいでは、はいでは、はいいでは、はいいでは、はいいでは、はいいでは、はいいでは、はいいでは、はいいでは、はいいでは、はいいでは、はいでは、はいでは、はいいでは、はいいでは、はいいでは、はいいでは、はいいでは、はいいでは、はいでは、はいいいでは、はいいいでは、はいいでは、はいいでは、はいいいでは、はいいでは、はいいでは、はいいでは、はいいでは、はいいでは、はいいでは、はいいでは、はいいでは、はいいでは、はいいでは、はいでは、はいいではいいで	変重要な役割 には、集会施 会館建設用地 維持管理を行 」を改正し、次 に新築」及び 台会館の長寿	を果たす自治会的設を設置するようとして市が寄付をっている。 の点について見直「建替え」に対する。	宮の建 協受 正助 のない おいかん おいかん おいかん かんしん かんしん かんしん いんしん かんしん はんしん はんしん かんしん かんしん かんしん かんしん か	記等を行う際、 指導を行っていたが、自治会によ 実施。 限度額を500万 は持管理を促進					

2. ロジックモデル及び指標設定

		・フラフ L	<i>/////////////////////////////////////</i>											
				アウ (活動				アウト (活動	プット 結果)			•	プット ·動)	
	ロジ	ックモデル	自治会活動の拠点である自治会 館の整備が促進され、自治会活動 の活性化が図られる。				自治会館の新築・建替えや、改修 等が実施される。				自治会館の建設等に対し、助成金を交付する。			
指		指標説明		処点となる 域活動の 会の数			自治会館	官を整備し	ンた自治:	会の数		台会館の	助成金の 整備を支 単位	
標		指標種類	増加す	ることが且			増加す	ることが且			増加す	ることが」	<u>」 手位</u> 良いとされ	
設定	指		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
走	指標数	目標 (見込み)	15	7	11	11	12	5	9	9	12	5	9	9
	値	実績	8	6	7		8	4	7		8	4	7	
		達成度	64%				78%			78%				

				アウト (活動				アウト (活動	プット 結果)		インプット (活動)			
	ジッ	クモデル②	館の整備	舌動の拠点 情が促進さ とが図られ	点である			段等開発(治会館)(行為に伴		者に対し	安等開発 、集会所	 行為を行 f用地の携 ・設置を協	是供及び
指		+15- 1 ==31 pp	による地	活動の拠点となる自治会館の整備 による地域活動の活性化が図られ た自治会の数 単位 件 単位 件 単位 件							集会所用 の建築・	月地の提 設置を協	供及び集 議・指導 単位	会施設する数件
標設		指標種類	増加す	ることが且	<u>単位</u> きいとされ	<u>件</u> る指標	増加す	ることが良	1 1		増加す	ることが!	<u>ーーサー</u> 臭いとされ	
定	指		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
2	指標 目標 15 7 11 11 数					11	3	2	2	2	3	2	2	2
	値	実績	8	6	7		0	2	3		1	2	3	
		達成度	64%				150%			150%				

3. 人員体制	(人)
	R4実績
正職員	1. 30
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4 決質額 (千円)

- - - .	八开 识					(1)
		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
	正職員、再任用、任期付	7, 178	10, 214	10, 156		
	人 会計年度任用職員	0	0	0		
歳	件特別職非常勤	0	0	0		
成出	費 附属機関委員	0	0	0		
ш	人件費計	7, 178	10, 214	10, 156		
	物件費計	26, 637	15, 278	40, 945	44, 805	91. 4%
	歳出計	33, 815	25, 492	51, 101		
	国庫支出金	0	0	0		※「正職員、再任用、
	府支出金	0	0	0		任期付」の人件費に ついては、人員配置
歳	受益者負担(使用料、手数料)	0	6	6	5	をもとに平均人件費
入	市債	0	0	0	0	を乗算しています。
	その他	928	1, 000	16, 084	10, 010	※「歳入」欄には物件 費に充当されるもの
	歳入計(物件費に充当される特定財源)	928	1, 006	16, 090	15, 924	のみを記載していま
	一般財源(物件費に充当されるもの)	25, 709	14, 272	24, 855	28, 881	す。

5. 総括的分析

総括的分析

10 自治会館の整備に対する支援については、令和2年度に自治会を対象として実施したアンケートの結果を踏まえ、自治会館建設等助成制度における「新築」及び「建替え」メニューの限度額増額、建物全般の改修を対象とする「改修」メニューの創設を内容とする助成制度の見直しを行い、令和3年度から実施している。しかし、自治 会内での合意形成や資金計画上の課題等により、同制度を活用し、自治会館の整備を行った自治会の数は想 定を下回った。

一方、開発行為に伴う自治会館の整備については、建築・設置基準を満たす開発件数が想定通りであったた め、目標を達成できた。

今後の方向性

U. 7100/J	IU II	
区分	現状維持	
今後の取り組み方針	制度の活用を促進することで、	ついて、自治会への制度の周知を引き続き行うとともに、自治会のニーズに沿ったさらなる自治会活動の活性化を図っていく。開発行為については、引き続き自治す開発に対して建築・設置の協議・指導を行っていく。

R4調書番号 700

ナッツ ナントンへっぱん	~1 / _ 11/-1								_		
事務事業名称	市民憲章普	民憲章普及啓発事業									
測定年度	2022 (F	2022(R4)年度							市民活動課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
	基本目	標	6.計画の推済	生に向ける	た基盤づく	くり					
総合計画体系	施策目	標	29.市民との	青報の共	有化を進	めます					
	実行計画	<u></u> 画名									

1 事務事業の概要

<u>1. 事務事業の概</u>	戏 罗												
種類	市民サービス	特性	選排	?的事業	区分	_	一般事務事業						
事業期間	1971 (S46) 年	E度 年	度 ~				年度まで						
根拠法令等	決裁	•	•										
関係補助金名称				サンセット		~							
関係附属機関名称													
	メインターゲット	全市民											
事業対象	サブターゲット												
ナベバジ	ターゲットが抱える課題	ーゲットが抱える課題 市民憲章のさらなる普及啓発を行う必要がある。											
	ターゲットが抱える課題												
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民憲章が広く市民は	ご普及し、市民憲章は	こ掲げる市!	民道徳、生活	規範が確立され	ているキ	犬態。						
事業概要	・本市市民憲章の普及・市内25か所に設置さ・枚方市民憲章を推進※枚方市民憲章を推進	れている憲章板・碑 する会の運営委員	の管理 会の開催へ	_	体から選出されな	たメンバ	一からなる団体						
3.71.100.5	で、市の実施する市民本事業は市民自身の 布・設置による啓発活	※枚方市民憲章を推進する会は、市民団体をはじめとする各種団体から選出されたメンバーからなる団体で、市の実施する市民憲章の普及啓発に対し、市民の立場から提言し、協力、連携を図っている。 本事業は市民自身の手によって策定された枚方市民憲章を啓発するため、ティッシュ等の啓発グッズの配布・設置による啓発活動が中心であったが、今後は市ホームページをはじめ、関係部署が発行する冊子への掲載やSNS等、様々な媒体を活用し、効果的に実施する。											

2 ロジックモデル及び指標設定

		ノフノし	= ナル及び指標設定												
				アウト (活動				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
I	コジッ		氏意早に掲りる市氏追偲、生活規範が確立されている。				市民憲章を知っている市民が増える。				市民憲章の啓発事業を検討する。				
指	:	指標説明	【算出式 て「市民」 した者の	章の認知/ :スマホア 憲章を知 数/スマ 答者数×	マンケート っている. ホアンケ	」と回答	啓発ティ	ッシュの	配布数	個	イベント	等による原	啓発回数 単位	回	
標設		指標種類	増加す	単位 /0				増加す	ることがI	<u></u> 単 し 臭いとされ					
定	指		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
	指標数	目標 (見込み)						7,000	7,000	7,000	4	4	4	4	
	値	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1					1,500	1,000	1,000		0	1	1		
		達成度		57%				14%			25%				

O · 7 (54 11 11	()()
	R4実績
正職員	0. 20
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

	クトラト	· LEC					/ 1/
			R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
	正	職員、再任用、任期付	1, 595	1, 571	1, 562		
		計年度任用職員	0	0	0		
歳		別職非常勤	0	0	0		
出出	費附	属機関委員	0	0	0		
ш		人件費計	1, 595	1, 571	1, 562		
	物件費	計	4	50	4	12	33. 3%
		歳出計	1, 599	1, 621	1, 566		
	国庫支	出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、
	府支出		0	0	0	0	任期付」の人件費については、人員配置
歳	受益者	負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	をもとに平均人件費
入	市債		0	0	0	0	を乗算しています。
	その他		0	0	0	0	※「歳入」欄には物件 費に充当されるもの
	方	裁入計 (物件費に充当される特定財源)	0	0	0	0	のみを記載していま
	_	般財源(物件費に充当されるもの)	4	50	4	12	す。

5. 総括的分析

総括的分析

市制施行75周年記念式典において枚方市民憲章を推進する会が市政功労団体として表彰を受け、市民憲章 朗読を行った。その様子を市ホームページに内容等を掲載するとともに、市民活動課窓口で啓発用ポケット ティッシュを配布、市ホームページや関係部署が発行する冊子への市民憲章の掲載等による啓発活動を実施 した。市民憲章の認知度は目標を下回ったが、昨年度より上昇した。

区分	現状維持	
今後の取り組み方針	啓発ティッシュの配布を行うとと 様々な媒体を活用し、効果的に	もに、市ホームページをはじめ、関係部署が発行する冊子への掲載やSNS等、 こ啓発活動を実施する。

ユーリン ユーントンノリンぐい	~, ~_ = _										
事務事業名称	コミュニティ	ユニティ連絡協議会運営事務									
測定年度	2022 (R	4)年度	部		市長公室		課市民活動課				
市長公約との関係	所信表明	0	市政運営方金	t R2		R3		R4		R5	
	基本目	標	6.計画の推	進に向ける	た基盤づく	くり					
総合計画体系	施策目	標	30.市民によ	80.市民による活発なまちづくり活動を支援します							
	実行計画	<u></u> 斯名									

1 事務事業の概要

□ 事務事業の概	汉安											
種類	市民サービス	特性		選	択的事業	区分		一般事務事業				
事業期間	1997 (H9) 年	度	年度	~				年度まで				
根拠法令等	決裁											
関係補助金名称					サンセット		~					
関係附属機関名称												
	メインターゲット	セインターゲット 枚方市コミュニティ連絡協議会										
サブターゲット 枚方市コミュニティ連絡協議会に参画する各校区コミュニティ協議会 事業対象												
学 未	ターゲットが抱える課題 枚方市コミュニティ連絡協議会の運営をより円滑に行うため、その運営を支援する。											
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	枚方市コミュニティ連絡 るとともに、地域住民の							果題の共有化を図				
事業概要	校区コミュニティ協議会の自主的な活動を支援し、地域の活性化に資する活動を行うことにより、地域住民の連携を促進し、安全・安心で魅力ある地域づくりを推進することを目的として組織された枚方市コミュニティ連絡協議会の事務を市民活動課で行い、その運営に対し支援を行っている。 また、行政からの情報提供について、取りまとめのうえ、枚方市コミュニティ連絡協議会を通じて校区コミュニティ協議会へ紙媒体で送付している。											

2 ロジックモデル及び指標設定

			アウトカム (活動効果)					アウト (活動					プット ·動)	
[コジッ	ックモデル	型 製性氏の連携、女生・女心で魅し				な活動や	ュニティ族や地域の冷	協議会の 舌性化に			ミュニテ	-377 イ連絡協)運営を支	
		指標説明	力ある地	民の連携、 !域づくりの 直した団体	の推進の		議の開催	ミュニティ 崔状況 (総 員会・ブロ	会•校区	代表者	ニティ連	支援の対象団体数(枚方市コミュニティ連絡協議会及び各校区コミュニティ協議会)		
指標					単位	団体数			単位	口			単位	団体数
設		指標種類		ることが良				ることが且					良いとされ	
定	指		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	標数	目標 (見込み)	46	46	46	46	22	22	22	22	46	46	46	46
	値	実績	46	46	46		18	20	24		46	46	46	
		達成度			0%				9%				00%	
				アウト (活動				アウト (活動				(活	プット ·動)	
	ジッ	クモデル②		民の連携、 !域づくり?				ュニティ語 が行政等7			通じて、	校区コミニ	イ連絡協議 ユニティ協 知らせを記	議会へ
指		指標説明	力ある地	民の連携、 !域づくりの 面した団体	の推進の		画団体が	ュニティ版 が、枚方市 と通じて行 けた回数	「コミュニ	ティ連絡	通じて、	校区コミュ	ィ連絡協議 ュニティ協 知らせを決	議会へ
標					単位	団体数			単位	便			単位	便
設		指標種類		ることが見				ることが月	-				良いとされ	
定	指		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
2	標数	目標 (見込み)	46	46	46	46	12	12	12	12	12	12	12	12
	値	実績	46	46	46		18	19	13		18	19	13	
		達成度		10	0%			10	8%			10	08%	

3. 人員体制	(人)
	R4実績
正職員	1. 50
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0. 01
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額 (千円)

	クトラーロス					(1 1 /
		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
	正職員、再任用、任期付	7, 975	11, 000	11, 718		
	人 会計年度任用職員	0	61	22		
歳	件 特別職非常勤	0	0	0		
出	費 附属機関委員	0	0	0		
ш	人件費計	7, 975	11, 061	11, 740		
	物件費計	2, 086		469	500	93. 8%
	歳出計	10, 061	11, 568	12, 209		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、
	府支出金	0	0	0	0	任期付」の人件費に ついては、人員配置
歳	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	をもとに平均人件費
入	市債	0	0	0	0	を乗算しています。
	その他	1, 500		0	0	※「歳入」欄には物件 費に充当されるもの
	歳入計(物件費に充当される特定財源)	1, 500		0	0	のみを記載していま
	一般財源(物件費に充当されるもの)	586	568	469	500	す。

5. 総括的分析

総括的分析

・枚方市コミュニティ連絡協議会では、年24回の会議(総会1回、臨時総会1回、役員会5回、臨時役員会5回、校区代表者会議4回、ブロック会議8回)が開催され、各団体間での情報・意見交換が行われた。 ・行政からの依頼やお知らせを、同協議会を通じて校区コミュニティ協議会やその参画団体に送付(13回)することで、行政の情報を地域に共有をすることができた。

・同協議会において、地域活動活性化の推進及び地域における情報共有のICT化の推進を目標に掲げ、本市 と共に推進した。

今後の方向性

U. 7 及U//	"] <u></u>	
区分	現状維持	
今後の取り組み方針	枚方市コミュニティ連絡協議会 り組んでいく。	の運営を支援していくとともに、地域活動の活性化に向け、同協議会と連携し取

コーパン コーンドンくりかんか	··/_ m·· =										
事務事業名称	サプリ村野!	プリ村野NPOセンター施設維持管理事業									
測定年度	2022 (F	(4)年度	部		市長公室		課市民活動課				
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
	基本目	標	6.計画の推進に向けた基盤づくり								
総合計画体系	施策目	標	30.市民による活発なまちづくり活動を支援します								
	実行計画	町名									

1 事務事業の概要

_1. 事務事業の概	犹 岁											
種類	内部管理	特性	F	勺部事務	区分	一般内部管理事務						
事業期間	2013 (H25) 年	F度	年度 ~	-		年度まで						
根拠法令等	枚方市立サプリ村野N	IPOセンター条例	、枚方市立	サプリ村野NP(Dセンター条例施	行規則						
関係補助金名称				サンセット		~						
関係附属機関名称												
	メインターゲット	NPOその他の市目	民団体でサブ	プリ村野NPOセ	ンターを利用する	利用者						
車業が免	サブターゲット	ナブターゲット										
事業対象 ターゲットが抱える課題 NPOその他の市民団体の活動の場の提供が必要である。												
		サプリ村野NPOセ う必要な施設保全				、安全に利用できるよ						
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	サプリ村野NPOセンタ 活動の場が充実してい)その他の市	「民団体が施設	を安心して安全性	や適に利用でき、市民						
事業概要	動の場として提供し、「 25年4月にリニューアバ	リート造 3階建 化やバリアフリー ((市民団体の主体的 レオープンした。サ いを備えており、施	Jな活動を支 プリ村野NI	援するため、「 POセンターの加	サプリ村野NPO1 施設は、一時利用	その他の市民団体の活 センター」として、平成 室(7室)、長期利用室 効法人ひらかた市民活						

2 ロジックモデル及び指標設定

2	<u>. ц</u>	ジックモラ	<u> 「ル奴し</u>											
	アウトカム (活動効果)								プット 結果)				プット 動)	
[コジッ	ックモデル									必要な係	守点検	等を実施、	する。
		指標説明					算額に対	補修工事 対する決算 ::決算額	算額の割 /当初予算	合。 算額×	必要な係 数	R守点検	数の実施	予定回
指									単位	%			単位	口
標		指標種類					減少す	ることがほ	臭いとされ	る指標	増加す	ることが』	良いとされ	る指標
設定	指						R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
定	標数	目標 (見込み)					100以内	100以内	100以内	100以内	33	33	33	33
	値	実績					0	0	0		33	33	33	
	達成度							10	0%			10	0%	

	R4実績
正職員	0. 40
再任用	0. 30
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
	正職員、再任用、任期付	3, 857	2, 357	4, 635		
	人 会計年度任用職員	0	0	0		
歳	件特別職非常勤	0	0	0		
成 出	費 附属機関委員	0	0	0		
щ	人件費計	3, 857	2, 357	4, 635		
	物件費計	10, 669	11, 038	11, 948	12, 463	95. 9%
	歳出計	14, 526	13, 395	16, 583		
	国庫支出金	0	0	0		※「正職員、再任用、
	府支出金	0	0	0	U	任期付」の人件費に ついては、人員配置
歳	受益者負担(使用料、手数料)	3, 757	4, 228	4, 952	4, 314	をもとに平均人件費
入	市債	0	0	0	0	を乗算しています。
	その他	0	0	0	U	※「歳入」欄には物件 費に充当されるもの
	歳入計(物件費に充当される特定財源)	4, 161	4, 228	4, 952	4, 314	のみを記載していま
	一般財源(物件費に充当されるもの)	6, 508	6, 810	6, 996	8, 149	す。

5. 総括的分析

総括的分析 適切に施設整備の保守点検を実施するとともに、施設消毒作業等の感染拡大防止対策に取り組んだ。

区分	現状維持	
今後の取り組み方針	サプリ村野NPOセンターを利用 設の維持管理を行い、安心して	引するNPOその他の市民団体が施設を安心して安全快適に利用できるように、施 て使用できる市民活動の場の提供を行う。

R4調書番号 713

コーパン コーンドンくりかんか	~, ~											
事務事業名称	ボランティア	ランティア表彰事業										
測定年度	2022 (F	(4)年度	部	市長公室			課	市民活動課				
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5		
	基本目	標	6.計画の推進	きに向けれ	た基盤づく	くり						
総合計画体系	施策目	標	30.市民による	る活発な	まちづくり	活動を支	:援します					
	実行計画	町名										

1 事務事業の概要

- 予伤争未の作	汉安											
種類	市民サービス	特性		選打	?的事業	区分		一般事務事業				
事業期間	1995 (H7) 年	三 度	年度	~				年度まで				
根拠法令等	枚方市ボランティア表	彰要領										
関係補助金名称					サンセット		~					
関係附属機関名称												
事業対象	サブターゲット	次の要件のいずれにも該当する者とする。 (1)社会に貢献する活動を過去5年以上にわたり行い、その功績が顕著で他の模となる者 (2)市内に在住しボランティア活動を行っている者、又は市外在住であるが市内でランティア活動を行っている個人。 あるいは、市内に主たる拠点を置きボランティア活動を行ってい団体、又は市外に点を置くが市内でボランティア活動を行ってい団体。 サブターゲット ボランティア活動の恩恵を受ける市民等 -ゲットが抱える課題 ボランティア活動を行い、社会に貢献している個人又は団体を労う場が少ない。										
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	ボランティア活動の促	進										
事業概要	ボランティア活動を行を行う。	っている団体や	や個人の	労をねぎ	らい、今後の泊	舌躍を期待し促進	する	ために市長表彰				

2. ロジックモデル及び指標設定

2 .		ジックモラ	アル及て	人指標 認	定									
				アウト (活動					プット 結果)		インプット (活動)			
	ジッ	ノクモデル	の浸透が	一般にホ ド図られ、 動が促進	市民によ	ア精神 るボラン	応募があ 査し、表		及び団位	本を審	ボランティア活動を通じて社会に 貢献している個人及び団体を募集 する。			
	į	指標説明	市が関わ	っるボラン ‡数	ティア参	加事業	推薦件数	汝			推薦依頼	頁件数		
指					単位	件			単位	件			単位	件
標		指標種類	増加す	ることが!	良いとされ	る指標	増加す	ることが且	臭いとされ	る指標	増加す	ることが」	良いとされ	る指標
設定	指		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
定	指標数	目標 (見込み)	1,850	1,900	1,950	2,000	50	50	50	50	3	3	3	3
値 実績 1,687 1,263 1,070							157	59	66		3	3	3	
		達成度		55	5%			13	2%			10	00%	

	(> 1 /
	R4実績
正職員	0. 20
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0. 02
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

			R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
		正職員、再任用、任期付	1, 595	1, 571	1, 562		
	人	会計年度任用職員	52	46	44		
歳	件	特別職非常勤	0	0	0		
出出	費	附属機関委員	0	0	0		
ш		人件費計	1, 647	1, 617	1, 606		
	物件	牛費計	289	96	148	80	185. 0%
		歳出計	1, 936	1, 713	1, 754		
	国国	車支出金	0	0	0		※「正職員、再任用、
		支出金	0	0	0	0	任期付」の人件費に ついては、人員配置
歳	受益	益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	をもとに平均人件費
入	市债	真	0	0	0	0	を乗算しています。
	その	D他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件 費に充当されるもの
		歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	0	0	0	のみを記載していま
		一般財源(物件費に充当されるもの)	289	96	148	80	す。

5. 総括的分析

総括的分析 令和3年度より表彰数は増加し目標値を大きく上回った。

ひ. フ仮の刀	IH) Iエ	
区分	現状維持	
今後の取り組み方針	ボランティア活動を通じて社会	貢献をしている個人・団体に対しての表彰を引き続き行う。

R4調書番号 714

ナッツ ナントンへっぱん	~, ~_ w-, =											
事務事業名称	市民公益活	民公益活動補償保険事業										
測定年度	2022 (R	4)年度	課	市民活動課								
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5		
	基本目	標	6.計画の推進	に向けた	た基盤づく	くり						
総合計画体系	施策目	標	80.市民による活発なまちづくり活動を支援します									
	実行計画	町名 一										

1 事務事業の概要

- 事務事業の作	兆女												
種類	市民サービス	特性		選打	尺的事業	区分		一般事務事業					
事業期間	1984 (S59) 在	E度	年度	~				年度まで					
根拠法令等	決裁				•								
関係補助金名称					サンセット		~						
関係附属機関名称													
	メインターゲット		及びその他	也市内	こ活動拠点の	怡会 (参画団体及 ある5人以上の市							
事業対象	サブターゲット												
	ターゲットが抱える課題	市民団体等力	が公益活動	を行う	上で、ケガ等の	のリスクがある。							
	ターゲットが抱える課題												
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民団体等が安心して	て市民活動を	実施するこ	とがで	きる。								
事業概要	本国内における日帰り 害賠償責任事故及び	交区コミュニティ協議会・自治会(参画団体及び枚方市コミュニティ連絡協議会を含む)及び市民団体の日本国内における日帰りの公益活動(子ども防災キャンプについては宿泊を伴う活動も含む)時に発生した損害賠償責任事故及び傷害事故について補償する市民公益活動補償保険の団体登録、事故発生時の受け及び保険会社への報告を行う。											

2 ロジックモデル及び指標設定

		ンツクモフ	, ル <u>双し</u>	<u> </u>	又上										
			アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
[コジッ					市民公益く知られ	益活動補 ^を る。	賞保険制	度が広	市民公益活動補償保険制度を周知する。					
	指標説明 ^{登録団体数}						要項配右	万数			要項設置施設数				
指		11-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1	1840.4	フェレル	単位	団体	184 40.4	フェレルド	単位	枚	124-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-	フェルバロ	単位	か所	
標		指標種類	増加す	ることが!	せいとされ	しる指標	増加す	ることが!	そいとされ	しな指標	増加す	ることか E	良いとされ	る指標	
設定	指		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
定	標数	目標 (見込み)	745	750	755	760	360	360	360	360	18	18	18	18	
	道 実績 724 725 722						360	360	380		18	18	18		
		達成度	,		10	6%	•	100%							

	R4実績
正職員	0. 40
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0. 10
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

	7331 HA	R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
	正職員、再任用、任期付	3, 190	3, 143	3, 125		
	人会計年度任用職員	224	200	222		
歳	件特別職非常勤	0	0	0		
出出	費 附属機関委員	0	0	0		
ш	人件費計	3, 414	3, 343	3, 347		
	物件費計	2, 162	1, 674	1, 443	3, 276	44. 0%
	歳出計	5, 576	5, 017	4, 790		
	国庫支出金	0	0	0		※「正職員、再任用、
	府支出金	0	0	0	0	任期付」の人件費に ついては、人員配置
歳	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	をもとに平均人件費
入	市債	0	0	0	0	を乗算しています。
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件 費に充当されるもの
	歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	0	0	0	のみを記載していま
	一般財源(物件費に充当されるもの)	2, 162	1, 674	1, 443	3, 276	す。

5 総括的分析

総括的分析

登録団体数について、目標は下回っているが、実績は横ばいで推移している。

<u> </u>		
区分	現状維持	
今後の取り組み方針	市民団体等が安心して市民活	動ができるよう引き続き事業を実施する。

R4調書番号 716

コーリン コーントリンベリンベル	··/_ m·· =												
事務事業名称	自治会掲示	治会掲示板交付事業											
測定年度	2022 (F	2022(R4)年度								市民活動課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方	計 R2		R3		R4		R5			
	基本目	標	6.計画の推	進に向け	た基盤づく	くり							
総合計画体系	施策目	標	30.市民による活発なまちづくり活動を支援します										
	実行計画	画名											

1 事務事業の概要

_Ⅰ 事務事業の作	艾 安												
種類	市民サービス	特性		選択的事業	区分	一般事務事業							
事業期間	1987 (S62) 年	1987(S62)年度 年度 ~ 年度まで											
根拠法令等	自治会掲示板の交付	冶会掲示板の交付に関する要綱											
関係補助金名称		サンセット											
関係附属機関名称													
	メインターゲット	メインターゲット 掲示板の交付申請を行う自治会											
事業対象	サブターゲット	ナブターゲット 掲示板にある情報を閲覧される地域住民等											
争未刈多	ターゲットが抱える課題	自治会におり	ける地域住民	民への情報提供の	充実を図る。								
	ターゲットが抱える課題												
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	地域広報が充実し、地	2域住民相互	の交流や活	動の促進が図られ	ている状態。								
事業概要	「自治会掲示板交付要	「綱」に基づき	、原則として	こ1会計年度に1自治	台会1枚を配布する	るもの 。							

2. ロジックモデル及び指標設定

		ンツクモフ	, ル <u>火</u> し											
					トカム 効果)			アウト (活動	プット 結果)			イン: (活	プット 動)	
ロジックモデル			地域住民相互の交流や活動の促進が図られる。			地域広報が充実する。			自治会掲示板を、原則として1会 計年度に1自治会1枚配布する。					
			掲示板が配置されている自治会の 割合				自治会排 規設置さ	曷示板がI された数			交付申請	青数	W/I	
指		ルールエイエルエ	1364 1		単位	%	1364 1	# = 1 1 N F	単位	枚	1364 1		単位	枚
標		指標種類	増加す	ることが』	支いとされ	いる指標	増加することが良いとされる指標			増加することが良いとされる			る指標	
設定	指		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
定	標数	目標 (見込み)	90 90 90 90				30	30	30	30	30	30	30	30
	値	実績	87 87 88				29	21	24		29	21	24	
		達成度		98	8%			80)%		80%			

R4実績
0. 40
0.00
0.00
0.00
0.00
0.00

	7371 80	R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
	正職員、再任用、任期付	3, 190	3, 143	3, 125		
	人会計年度任用職員	0	0	0		
歳	件特別職非常勤	0	0	0		
出出	費 附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	3, 190	3, 143	3, 125		
	物件費計	471	1, 164	273	250	109. 2%
	歳出計	3, 661	4, 307	3, 398		
	国庫支出金	0	0	0		※「正職員、再任用、
	府支出金	0	0	0	0	任期付」の人件費に ついては、人員配置
歳	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	をもとに平均人件費
入	市債	0	0	0	()	を乗算しています。
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件 費に充当されるもの
	歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	0	0	0	のみを記載していま
	一般財源(物件費に充当されるもの)	471	1, 164	273	250	す。

5. 総括的分析

総括的分析 掲示板の交付数はコロナ禍以前と比較すると減少したが昨年度より増加した。

O. / (X 47 /)	1, 3, 17	
区分	現状維持	
今後の取り組み方針	引き続き掲示板を交付すること	により、地域住民相互の交流や活動の促進を図る。

R4調書番号 717

ナッツ ナントンくっぱん	~1 ~ C W ² =												
事務事業名称	特定非営利活動法	持定非営利活動法人設立認証等事業											
測定年度	2022(R4)年度	部	部 市長公室 課										
市長公約との関係	所信表明	市政運営方針	市政運営方針 R2 R3						R5				
	基本目標	6.計画の推済	生に向け?	た基盤づく	り								
総合計画体系	施策目標	30.市民による活発なまちづくり活動を支援します											
	実行計画名												

1 事務事業の概要

Ⅰ. 争務争耒の∜	以安												
種類	市民サービス	特性		非選	択的事業	区分	非	選択的事務事業					
事業期間	2012 (H24) [£]	F度	年度	~				年度まで					
根拠法令等	特定非営利活動促進	法											
関係補助金名称		サンセット											
関係附属機関名称													
	メインターゲット	インターゲット 特定非営利活動法人の設立を目指す市民団体等及び市内の特定非営利活動法人											
サブターゲット 市内で活動する特定非営利活動法人の公益活動により恩恵を受ける 事業対象													
学 未对多	ターゲットが抱える課題	市民活動団	本が安定し	た運営	を行う。								
	ターゲットが抱える課題												
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	特定非営利活動法人	の設立認証等	- 等を行うこと	により、	団体の運営か	ぶ安定し、市民活	動が活	5性化する。					
事業概要	法人の設立認証等に証、設立後の法人に対							法人の設立認					

2 ロジックモデル及び指標設定

		ンツクモフ	NXC											
					トカム 効果)			アウト (活動	プット 結果)			イン :	プット 動)	
[コジッ	ックモデル					市民活動団体の運営が安定する。				特定非営利活動法人の設立認証 等に係る事務を実施する。			
		指標説明					市内の特	持定非営 党			特定非営利活動法人の設立認 件数			·
指									単位	法人			単位	件
標		指標種類					増加す	ることが且	臭いとされ	る指標	増加す	ることが』	良いとされ	る指標
設定	指						R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
定	標数	目標 (見込み)					115	120	125	130	5	5	5	5
	値	実績					117	111	105		5	4	0	
		達成度						84	4%			0	1%	

	R4実績
	0.50
正職員	0. 50
再任用	0. 00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0. 02
特別職非常勤	0. 00
附属機関委員	0. 00

	クトラナ Dス						/ 1/
			R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
	正職員	、再任用、任期付	3, 988	3, 929	3, 906		
		度任用職員	0	61	22		
歳		非常勤	0	0	0		
成出	費附属機	関委員	0	0	0		
щ		人件費計	3, 988	3, 990	3, 928		
	物件費計		59	215	205	450	45. 6%
		歳出計	4, 047	4, 205	4, 133		
	国庫支出金	È	0	0	0		※「正職員、再任用、
	府支出金		59	215	1, 224		任期付」の人件費に ついては、人員配置
歳	受益者負担	1(使用料、手数料)	0	0	0	0	をもとに平均人件費
入	市債		0	0	0	013	を乗算しています。
	その他		0	0	0	U ,	※「歳入」欄には物件 費に充当されるもの
	歳入*	計(物件費に充当される特定財源)	59	215	1, 224	2, 114	のみを記載していま
	一般則	「源(物件費に充当されるもの)	0	0	0	0	す。

5. 総括的分析

総括的分析

特定非営利活動法人の設立認証がなかったことや、解散された法人もあり、法人数が減少した。

区分	現状維持	
今後の取り組み方針	引き続き、特定非営利活動の低 じめ、各種申請・届出の処理・5	建全な発展を促進するため、特定非営利活動法人からの事業報告書の提出をは 受理業務を円滑に行うととともに、あわせて監督・指導業務を的確に行う。

R4調書番号 729

コーリン コーントリンベリンベル	··/_ m·· =											
事務事業名称	協働のまち	のまちづくり推進事業										
測定年度	2022 (R	2022 (R4) 年度										
市長公約との関係	所信表明	0	市政運営方針	R2		R3		R4		R5		
	基本目	標	6.計画の推済	進に向け7	た基盤づく	くり						
総合計画体系	施策目	標	30.市民による活発なまちづくり活動を支援します									
	実行計画	実行計画名 計画推進2-1.市民活動の支援										

1 事務事業の概要

_1. 事 務事業の和	以 发										
種類	市民サービス	特性		選打	尺的事業	区分	-	一般事務事業			
事業期間	2016 (H28) 在	F度	年度	~				年度まで			
根拠法令等	決裁										
関係補助金名称					サンセット		~				
関係附属機関名称											
	メインターゲット	市民や市民	団体、NPO	、事業を	省等						
	サブターゲット 協働によるまちづくりの推進による市民サービスを提供される市民										
事業対象	ターゲットが抱える課題	市民や市民団体、NPO、事業者など多様な主体が地域課題を共有し、信頼関係を 深め、適切な役割分担を行い、協働によるまちづくりを進める必要がある。									
	ターゲットが抱える課題										
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民や市民団体、NP	つ、事業者など	ご多様な主	体の協	働によるまち [、]	づくりが推進されて	こいる	0			
事業概要	地域との協働を推進す 会と意見交換を行い、 組む。 また、行政とNPOとの 象に、協働に関する研	必要に応じて 意見交換会を	関係課とつひらかた市	マッチン i民活動	グするなど、±	地域の公共的課題	1の解	決に向けて取り			

2. ロジックモデル及び指標設定

				アウト (活動	トカム			アウト (活動	プット 結果)				プット ·動)		
	ロジ	ックモデル					職員の協る。	職員の協働に対する理解を深め る。				市民活動課職員の枚方市コミュニティ連絡協議会の会議等への参加、またNPOとの意見交換会を実施する。			
指		指標説明	多様な主数	上体との協			会議等及	ミュニテ 及びNPO。 関する研修	との意見を	交換会、加延べ	ティ連絡加回数、	協議会の NPOとの	の枚方市)会議等/)意見交換 引する研修	への参 免会の開 多開催回	
標		指標種類	増加す	ることが良	単位	件 ス指標	増加す	ることが且	単位	人 ス指煙	増加す	スニレが!	単位 臭いとされ	日 ス指煙	
設定	指		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
<i>\</i>	一標数	日標	170	180	190	200	105	170	180	190	17	25	25	25	
	値 実績 198 224 239					357	267	182		8	23	26			
		達成度		12	6%	!		10	1%	!	104%				

	R4実績
正職員	0. 80
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

	() () () () () () () () () ()	R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
	正職員、再任用、任期付	5, 583	6, 286	6, 250		
	人 会計年度任用職員	0	0	0		
歳	件特別職非常勤	0	0	0		
出出	費 附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	5, 583	6, 286	6, 250		
	物件費計	0	0	20	10	200. 0%
	歳出計	5, 583	6, 286	6, 270		
	国庫支出金	0	0	0		※「正職員、再任用、
	府支出金	0	0	0	U	任期付」の人件費に ついては、人員配置
歳	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	をもとに平均人件費
入	市債	0	0	0	()	を乗算しています。
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件 費に充当されるもの
	歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	0	0	0	のみを記載していま
	一般財源(物件費に充当されるもの)	0	0	20	10	す。

5. 総括的分析

総括的分析

動画研修での協働事例の共有や、コミュニティ・NPOとの意見交換等により、職員の協働に対する意識醸成を行うことができた。

<u> </u>	1,317	
区分	現状維持	
今後の取り組み方針	協働によるまちづくりを一層推済	進していくため、引き続き取り組みを進めていく。

ナルナヘヘ収が									ц 5				
事務事業名称	市民活動課運営事務												
測定年度	2022(R4)年度	部	部 市長公室			課		市民活動詞	 果				
市長公約との関係	所信表明	市政運営方針	R2		R3		R4	R	5				
	基本目標	9.施策体系列	\										
総合計画体系	施策目標	99.施策体系	外										
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

1. 事務事業の報	戏 罗							
種類	内部管理	特性		庶利	务的事務	区分	庶務	的内部管理事務
事業期間	不明		年度	~				年度まで
根拠法令等	決裁			•				
関係補助金名称					サンセット		~	
関係附属機関名称								
	メインターゲット	市民活動課	所属職員					
事業対象	サブターゲット							
于未归外	ターゲットが抱える課題	課の運営を円	月滑に図る	必要が	ある。			
	ターゲットが抱える課題							
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	 課の運営が円滑に進る。 	te.						
事業概要	課の運営事務							

2. ロジックモデル及び指標設定

		ンツソモノ	「ル双し		又上								
		ンツクモ っ ックモデル		アウ (活動	トカム 効果)				プット 結果)	インプット (活動)			
		指標説明											
指標設定													
標		指標種類											
設	指												
定	標数	目標 (見込み)											
	値	実績											
		達成度											

	R4実績
正職員	1.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0. 10
特別職非常勤	0. 00
附属機関委員	0.00

				R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出			正職員、再任用、任期付	7, 975	7, 857	7, 812		
		人	会計年度任用職員	327	292	222		
	노	件	特別職非常勤	0	0	0		
		費	附属機関委員	0	0	0		
			人件費計	8, 302	8, 149	8, 034		
		物作	上費計	58	47	37	64	57. 8%
			歳出計	8, 360	8, 196	8, 071		
		国庫支出金		0	0	0		※「正職員、再任用、
歳入			2出金	0	0	0	0	任期付」の人件費に ついては、人員配置
	歳	受益	益者負担(使用料、手数料)	9	0	0	0	をもとに平均人件費
	入	市債		0	0	0	0	を乗算しています。
		その	D他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件 費に充当されるもの
			歳入計(物件費に充当される特定財源)	9	0	0	0	のみを記載していま
	一般財源(物件費に充当されるもの)		49	47	37	64	す。	

5. 総括的分析

総括的分析

市民活動課における行政事務及び庶務事務については、円滑かつ適正に執行した。

ひ. 71次の刀川注			
	区分	現状維持	
今後の〕	今後の取り組み方針課の運営について円滑かつ適		正な処理を行う。